



はじめにお読みください

このたびは、リーマン・チャイルドシートをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。安全のため、ご使用前には、かならず本書をお読みの上、記載された内容に従って正しくお使いください。

取扱説明書 保証書付

年少者用補助乗車装置 Group 0, I

商品名 パミオコクーン

型式：LYE - 581

注意

- 本装置は「汎用」年少者用補助乗車装置です。本装置は車両で一般的に使用するものとして、規則No.44の04改訂シリーズに基づいて認可されており、一部を除いて大抵の車両のシートに適合します。
- 車両メーカーの車両ハンドブックに当該車両がこの年齢層向けの「汎用」年少者用補助乗車装置を搭載できると明記されていれば、装置が正しく取り付けられることはほぼ確実です。
- 本装置は、認可された車両が UN/ECE 規則 No.16 または同等の基準で認可された3点式 / 巻取り装置なし / 巻取り装置付き安全ベルトを装備している場合にのみ適しています。
- 本年少者用補助乗車装置は、この注意書きが貼付されていない従来の設計よりも厳しい条件に基づいて「汎用」装置に分類されています。
- 疑問があるときは、年少者用補助乗車装置のメーカーか販売店にご相談ください。
- この取扱説明書では、安全にご使用していただくため、特に守っていただきたいことなど次のマークで表示しています。いずれも安全に関する内容ですので、かならず守ってください。

警告 記載内容を守らないと生命の危険または、重大な傷害につながるおそれがあります。

注意 記載内容を守らないと傷害または事故につながるおそれがあります。

禁止 図示されている内容の禁止を示しています。

Check 安全のため、かならず確認していただきたいこと。

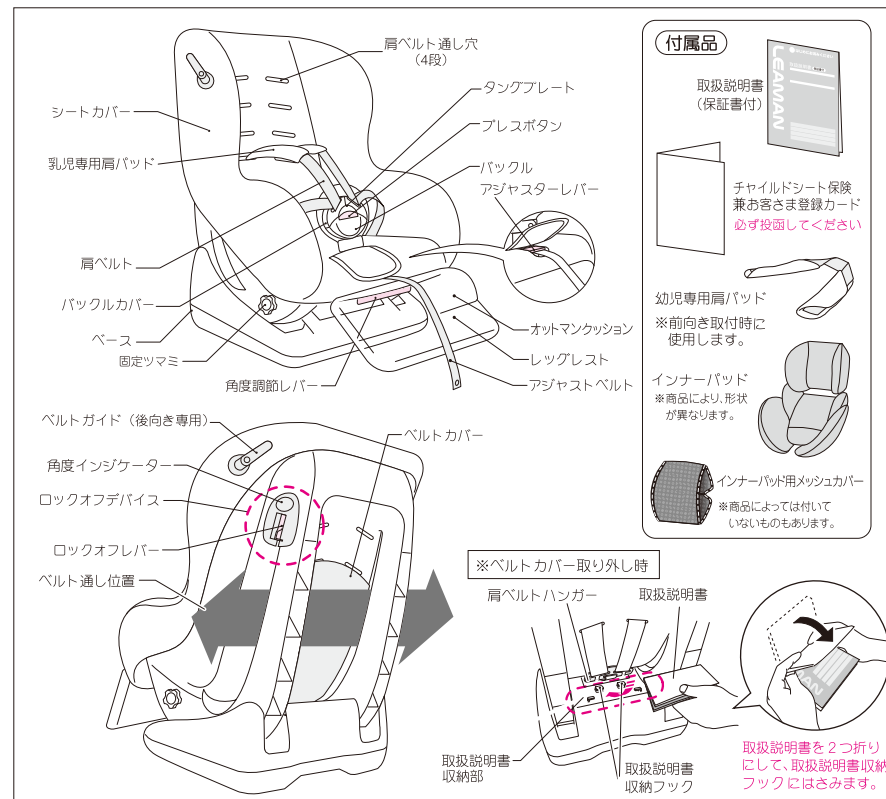
アドバイス より安全、快適にご使用していただく上で知っておいていただきたいこと。

- この取扱説明書は、お読みになった後も大切に保管し(本体ベース背面の収納フック)、必要に応じてお読みください。

Pamio Cocoon
ECE R44/04
UNIVERSAL
0-10kg Y
E9
044399
LEAMAN







11582-10321

1. 各部の名称



2. お子さまの適用条件

- △警告 お子さまの体重が10kgを超えるまで、前向きで使用しないでください。
- △警告 前部座席での後向き使用の際、運転のさまたげになる場合(サイドミラーが見えなくなる等)は、ご使用をおやめください。





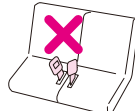
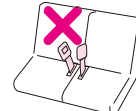
体重	7kg未満	7kg～10kg未満	10kg～18kg以下
身長のみやす 年齢のみやす	65cmまで 新生児～6ヶ月頃まで	65cm～75cmまで 6ヶ月頃～12ヶ月頃まで	75cm～100cmまで 12ヶ月頃～4才頃まで
取付方向	 後向き		 前向き
取付具	インナーパッド ※商品により、形状が異なります。		
	肩パッド		
その他	ひとり座りができ、首がしっかりすわっていること。		お子さまを座らせるとき、後頭部が背もたれの上から出ないこと。
レッグレスト	使用不可(格納状態)	使用不可(格納状態)	使用

- △警告 新生児から6ヶ月頃まではお子さまの負担を考え、1時間以上連続して使用しないでください。

- 🗣️ アドバイス 安全性がより高い後部座席への取り付けをおすすめします。また、エアバッグが装備された助手席には取り付けできません。

3. 取り付けできない座席

- △警告 車両シートベルトの種類や座席の形状などにより、取扱説明書どおりに固定できないときは、他の座席に取り付けてください。

シートベルトの付いていない座席 	2点式シートベルトの座席 	エアバッグが装備されている座席  サイドエアバッグのみの場合には取り付けできます。
座席の奥行きが43cm以下の座席 	シートベルトのバックル部が座席の中央からでている座席 	車両バックルの位置が高く、チャイルドシートを固定できない座席 

- 3点式シートベルトで上下取り付け部が共に巻取り式の座席。
- パッシブシートベルト(前部座席に座るとドアの開閉によって、自動的に脱着されるタイプのシートベルト)のついた座席。
- 車両進行方向に対し、後向きおよび横向きの座席。(衝突の際にショックを吸収できません)
- 極端なバケットタイプなどの座席。(取り付けたチャイルドシートが安定しません)
- チャイルドシートを取り付けた際に、運転に支障を及ぼす車両座席、及び前部中央座席。(万一のとき乗員の安全が確保できません)
- その他、チャイルドシートを固定できない座席。

4. 取付可能な車両シートベルト

本装置は車両が3点式/巻取装置なし/巻取装置付座席ベルトを装着している場合に使用できます。

- 車両には、各種のシートベルトが装着されています。それぞれの特徴も違い、取り付け方法も変わってきます。チャイルドシートを正しく安全に使用するために、**お子さまの車両(シートベルト)に合った取り付け方で装着してください。**
- 車両シートベルトの種類 (○: 取り付け可能 ×: 取り付け不可)

3点式	巻取装置有り						パッシブ	巻取装置無し
	ELR付		ALR付		NLR付			
	肩側	腰側	肩側	腰側	肩側	腰側		
○	×	○	○	○	○	×	○	

	特長	本装置の取り付け注意点	取付可能
ELR・ALR付 3点式シートベルト (チャイルドシート 固定機構付 ベルト巻取装置)	通常はELRベルトとして機能しますが、ベルトを全量引き出すとALR機能に切り替わり、戻す方向にベルトが自動的にしまるシートベルトです。また、ベルト全量戻したときにはELR機能に戻ります。	チャイルドシートをロックオフレバーでしっかりと固定してから、 シートベルトを全部引き出し、ALR機能に切り換えてください。 △注意 取り付けの際は、装着車両の取扱説明書も確かめください。	○
ALR付 3点式シートベルト (自動ロック式 ベルト巻取装置)	ベルトを引き出す途中で手を止めると自動的にベルトがロックされ、それ以上引き出せません。	チャイルドシートを固定するのに 必要なだけの長さを一気に引き出してから 、チャイルドシートを ロックオフレバーでしっかりと固定 してください。	○
ELR付 3点式シートベルト (緊急ロック式 ベルト巻取装置)	通常は、ベルトが自由に入り出し、衝撃(急ブレーキなど)を感じたときに、ベルトがその時点で伸びなくなりロックされます。	肩ベルトを ロックオフレバーでしっかりと固定 してください。	○
NLR付 3点式シートベルト	ロック機構がなく、ベルトを全量引き出した状態で長さを調節します。	巻き取り装置から全量引き出し、本体の取り付けにあわせシートベルトの長さを調節し固定します。	○
パッシブ シートベルト	前部座席に乗ってドアを閉めると自動的にシートベルトが装着され、ドアを開けると自動的にシートベルトが外れるタイプのシートベルト。	チャイルドシートを固定することができません。	×
その他の シートベルト	表記載されていないものすべて。	チャイルドシートを固定することができません。	×

- △警告 2点式シートベルトには取り付けできません。

5. 必ずお読みください

警告 * 記載内容を守らないと、生命の危険または、重大な傷害につながるおそれがあります。



チャイルドシートは取扱説明書どおりに固定してください。



保護者が各部分に触れて、やけどしないことを確認の上、お子さまを乗せてください。



車両シートベルトの種類や座席の形状などにより、取扱説明書どおりに固定できないときは、他の座席に取り付けてください。



お子さまを車内にひとりで放置することはおやめください。



エアバッグ装備の座席には使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により強い衝撃を受け危険です。



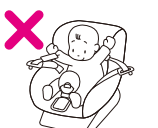
お子さまが、バックルのプレスボタンを押さないように注意してください。ときどきタンクプレートがバックルからはずれていないことを確認してください。



腰ベルトで骨盤がしっかりと拘束されるように必ず腰ベルトを低く下げて着用させてください。



衝突事故や製品を落下させるなど一度でも強い衝撃を受けたチャイルドシートは、外観に破損がなくても絶対に使用しないでください。



チャイルドシートのバックルをはずしたままのご使用は危険ですので絶対におやめください。



お子さまが乗っていない場合、チャイルドシートはトランクに収納しておくか、車両シートベルトでしっかりと固定しておいてください。



お子さまの不特定な行動により、ベルトが首に巻きつくおそれがあるため、必ず保護者が同乗し、使用してください。



運転中にチャイルドシートの操作（ベルト調節・角度調節などの操作）をしないでください。



チャイルドシートを助手席に取り付けるとき、チャイルドシートとシフトノブやサイドブレーキなどが干渉する場合があります。干渉する場合には助手席でのご使用をやめ、後部座席でのご使用ください。



チャイルドシートを改造したり、カバー類・ウレタンなどは取りはずして使用しないでください。



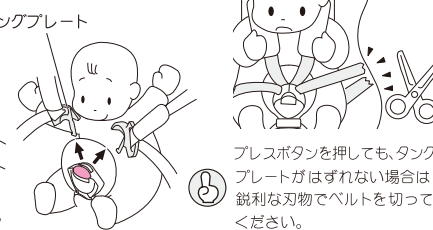
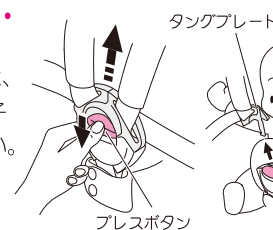
後部座席に人が乗る場合の2ドア・3ドア車の助手席や、1BOX車やミニバンのセカンドシート乗降口側には、緊急時の脱出口確保のため、取り付けないでください。



新生児(生後1ヶ月未満)にお使いいただく場合は、運転者以外に同乗者が乗り、目はなさないでください。また、お子さまの負担を考え1時間以上連続して使用しないでください。

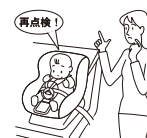
緊急時には…

衝突などの緊急時には、あわてず速やかにお子さまを救出してください。



プレスボタンを押しても、タンクプレートがはずれない場合は鋭利な刃物でベルトを切ってください。

注意 * 記載内容を守らないと傷害または事故につながるおそれがあります。



お子様を乗せる際には、チャイルドシートの取り付け状態を再確認し、正しい状態で走行してください。また、走行中や走行後も異常がないことを確認してください。(確認は停車し、安全な状態で行ってください)



車両シートベルト及びチャイルドシートのベルトを鋭利なもので傷つけないようにご注意ください。



チャイルドシートにお子さまを乗せたまま車両への取り付け・取りはずしはおやめください。



チャイルドシートは車両以外のご使用をおやめください。



お子さまがチャイルドシートの上で立ち上がりたり、中腰になったりしないよう、注意してください。また、お子さまの遊び道具にしないでください。



衝突の際、傷害を与える可能性のある荷物などはしっかりと固定しておいてください。

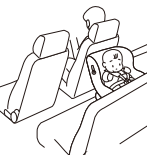


チャイルドシートを取り付ける際は、取り付け車両のマニュアルを併せてお読みください。



可動式シートまたは車両のドアに剛性部分（プラスチック部分等）が挟まれないようにチャイルドシートを取り付けてください。

アドバイス * より安全、快適にご使用していただく上で知っておいていただきたいこと。



後向き使用のときは運転席の後部座席へ取り付けると肩ベルトが邪魔になりません。(右ハンドルで助手席側からの乗せ降ろし時)
* 車道側からの乗せ降ろしは危険ですので、歩道側から行ってください。



車両シートの材質、形状により、キズや跡がつく場合がありますのでご注意ください。チャイルドシートと車両シートが接する面にはタオルなどをあてて、ご使用ください。

当製品は、交通事故などの際に、お子さまが受ける衝撃を軽減するための年少者用補助乗車装置ですが、必ずしもお子さまを無傷で守ることができるわけではありません。運転には、必ず細心の注意をはらい、事故が発生しないように心がけてください。

6. お手入れの仕方

洗濯方法

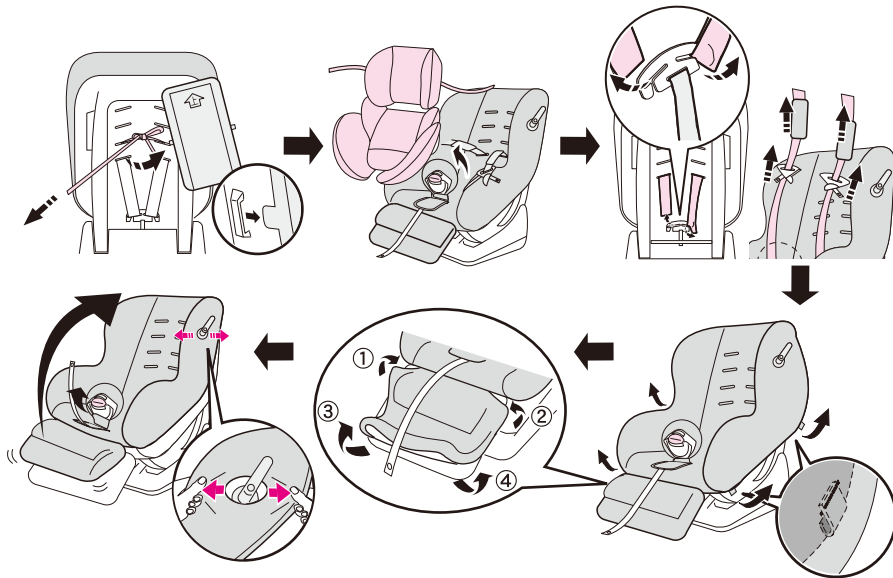
- 肩パッド・シートカバー・バックルカバー・インナーパッドカバーは、中性洗剤を使用して水またはぬるま湯で押し洗いしてください。
- 脱水はさけ、タオルなどで押し絞り、風通しのよい日かげに干してください。
- 塩素系漂白剤は使用しないでください。



日常のお手入れ方法

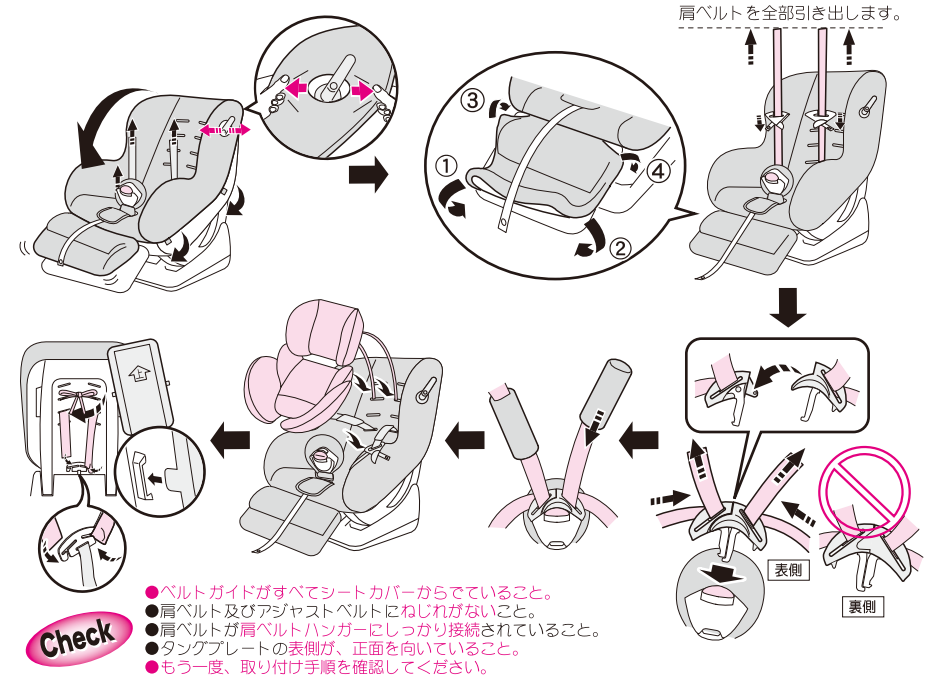
- 樹脂部は水または、から拭きしてください。
- 掃除機などで、ほこりやごみを取ってください。
- 飲み物など、しみの残りやすいものをこぼしたときは、乾かないうちに拭き取ってください。
- ガソリン・シンナーのご使用は、表面の生地や樹脂をいためますので、絶対におやめください。

シートカバーの取りはずし方



シートカバーの取り付け方

- △警告 専用カバー以外は使用しないでください。
- △警告 カバー類は必ず取り付けて使用してください。



7. インナーパッドの使い方

年齢のめやす：
新生児～6ヶ月頃



当製品は、交通事故などの際に、お子さまが受ける衝撃を軽減するための年少者用補助乗車装置ですが、必ずしもお子さまを無傷で守ることができるわけではありません。運転には、必ず細心の注意をはらい、事故が発生しないように心がけてください。

操作方法

△警告 操作は、かならず停車中におこなってください。

お子さまの

体重：

10kg未満



身長のためやす：

75cmまで

年齢のためやす：

新生児～12ヶ月頃

後向き取付け



△警告
レッグレストは使用不可
後向きでは、オットマンクッションを上にはね上げて取り付けてください。

Check

取付具

体重：7kg未満

身長：65cmまで



体重：7～10kg未満

身長：65～75cmまで



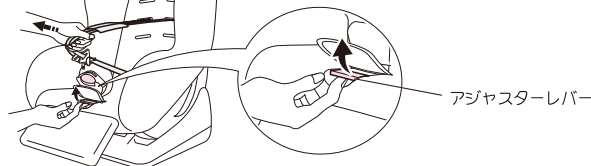
1 お子さまの座らせ方

△警告 お子さまの着座のたびに、かならずアジャストベルトを引きお子さまを拘束してください。

△警告 バックル部分は異物が詰まったり飲み物がかかるとロックが確実にできなくなるなど故障の原因となります。

△警告 腰ベルトで骨盤がしっかりと拘束されるように必ず腰ベルトを低く下げて着用してください。

1 アジャスターレバーを引き上げたまま肩ベルトを引き出します。

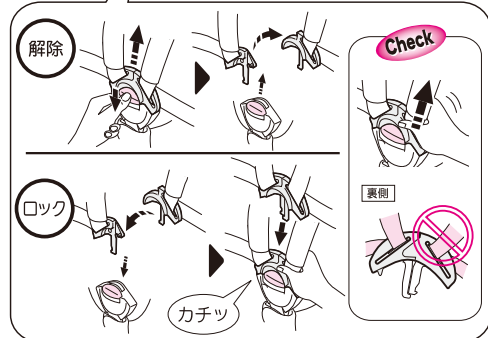


2 お子さまを、チャイルドシートの座面及びインナーパッドにあわせて深く座らせ、肩ベルトに左右の腕を通します。

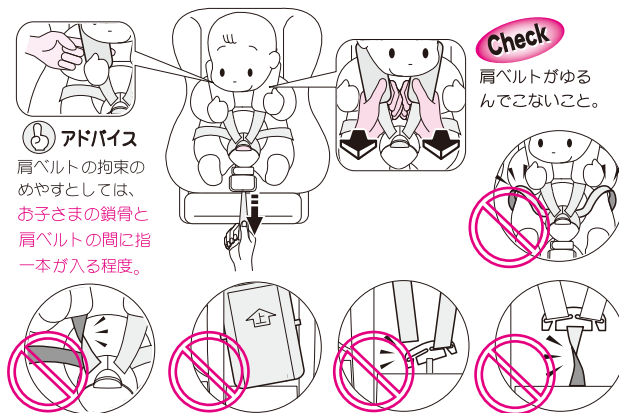


△警告 かさばる衣服を着せたまま、乗せないでください。

3 バックルとタングプレートをロックします。

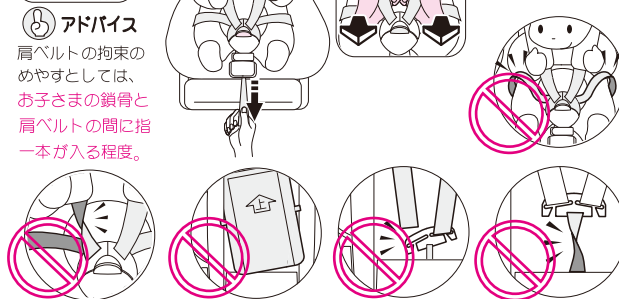


4 アジャストベルトを引き、肩ベルト、腰ベルトのゆるみたるみを取ります。



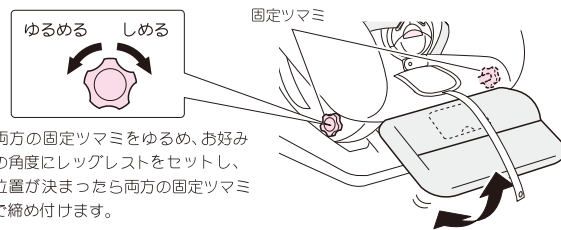
Check

肩ベルトがゆるんでこないこと。



レッグレストの使い方

◎当製品のレッグレスト機能は、チャイルドシートに座ったお子さま（前向き使用時）の足のひらつきを抑制し、正しく着座していただくための補助装置です。



△警告 レッグレストのご使用は、車両進行方向に対して必ず前向き取り付け状態でお使いください。お子さまが乗っていない場合はレッグレストは下ろした状態にしてください。

操作方法

△警告 操作は、かならず停車中におこなってください。

お子さまの
体重：
10kg未満



身長のためやす：
75cmまで

年齢のためやす：
新生児～12ヶ月頃

後向き取付け



△警告
レックレストは使用不可
後向きでは、オットマンクッションを上にはね上げて取り付けてください。

Check 取付具

体重：7kg未満
身長：65cmまで



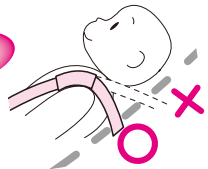
体重：7～10kg未満
身長：65～75cmまで



2 肩ベルト高さ調節

お子さまを座らせ肩ベルト高さを決めます

Check 1



△警告
肩ベルトの高さはお子さまの肩と同じ高さか、やや低めの肩ベルト通し穴を使用してください。
注) 新生児～6ヶ月頃はインナーパッド使用で確認します。

△注意 かならず肩ベルトを左右同じ高さのベルト通し穴に通してください。
△注意 肩ベルトおよび、アジャストベルトははじれないように、肩ベルトハンガーに取り付けてください。

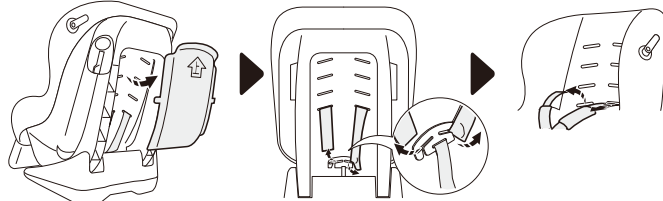
肩ベルト高さが合っていれば 3 へお進みください

注) 工場出荷時には肩ベルト高さは最下位にセットしてあります。

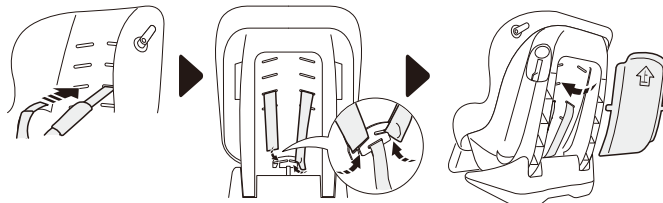
肩ベルトの高さが合わなければ調節してください

アジャスタレバーを引き上げたまま、肩ベルトを手前に引けなくなるまで引き出します。(左図 1 お子さまの座らせ方 参照。)

肩ベルトを抜き取ります



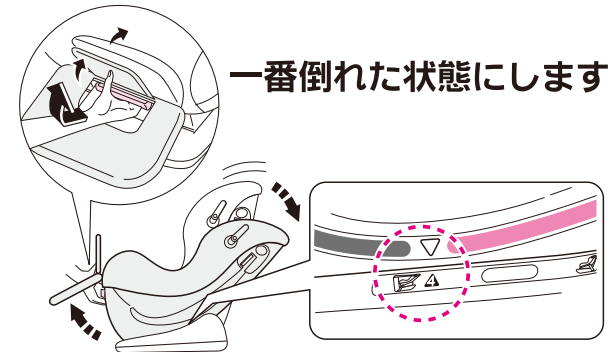
肩ベルト高さを調節します



△警告 ベルトカバーはかならず取り付けてご使用ください。

3 取付角度調節

一番倒れた状態にします



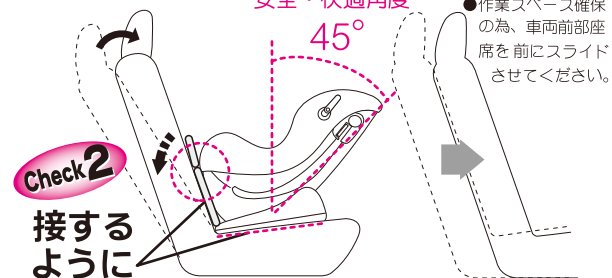
安全・快適角度

45°

●作業スペース確保のため、車両前部座席を前にスライドさせてください。

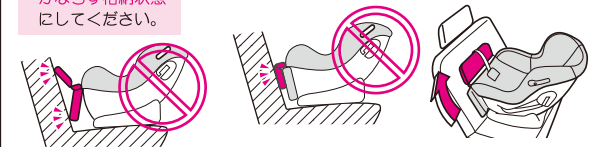
Check 2

接するように

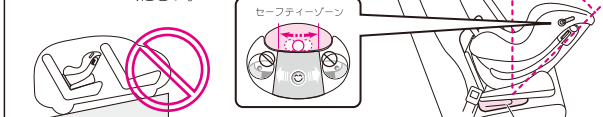


△警告
レックレストは、かならず格納状態にしてください。

△警告 後向きでは、オットマンクッションを上にはね上げて取り付けてください。



⑥ ※セーフティーゾーンに入らないときはクッションなど本体の下に入れて調節してください。



※車が水平な状態で行ってください。

クッションなど

操作方法

⚠警告 操作は、かならず停車中におこなってください。

お子さまの

体重：

10kg未満

身長のみやす：

75cmまで

年齢のみやす：

新生児～12ヶ月頃



後向き取付け



Check

取付具

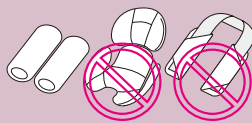
体重：7kg未満

身長：65cmまで



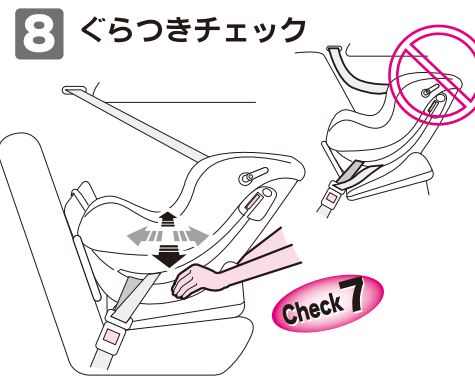
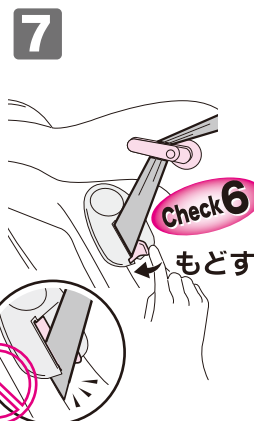
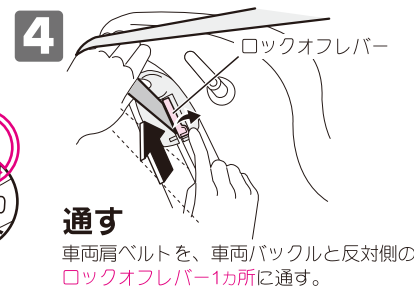
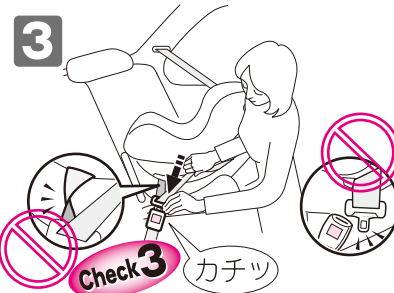
体重：7～10kg未満

身長：65～75cmまで

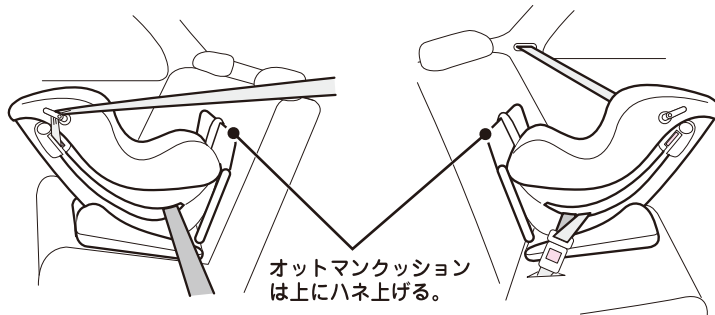


4

後向き 取付手順



完成図



Check 1～7 はかならずおこなってください。

以上の項目をチェック後



●ぐらつきチェックで、ベース部を前後左右にゆすり、約3cm以上ぐらつく場合はもう一度取付手順の**1～8**の順序で、取り付けをやり直してください。

操作方法

△警告 操作は、かならず停車中におこなってください。

お子さまの
体重：
10~18kg 以下

身長のため：
75~100cm まで

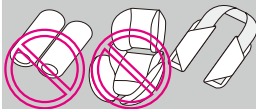
年齢のため：
12ヶ月頃~4才頃

前向き取付け



△警告
お子さまの体重が10kgを
超えるまでは、前向きで
使用しないでください。

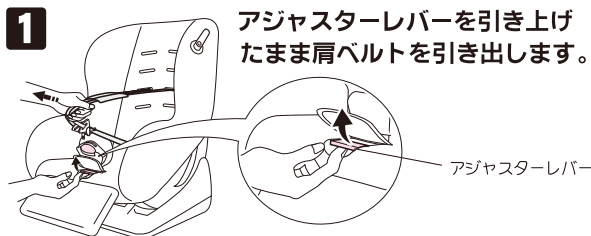
取付具



△警告
かならず幼児専用肩パッド
を使用してください。

1 お子さまの座らせ方

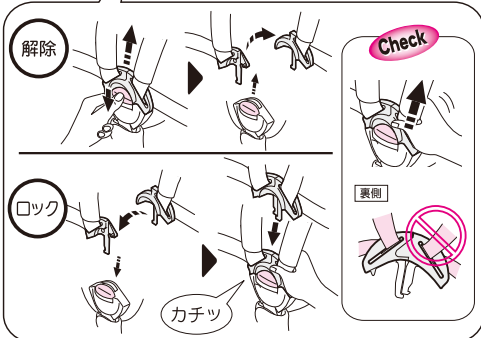
- △警告 お子さまの着座のたびに、かならずアジャストベルトを引きお子さまを拘束してください。
- △警告 バックル部分は異物が詰まったり飲み物がかかるとロックが確実にできなくなるなど故障の原因となります。
- △警告 腰ベルトで骨盤がしっかりと拘束されるように必ず腰ベルトを低く下げて着用してください。



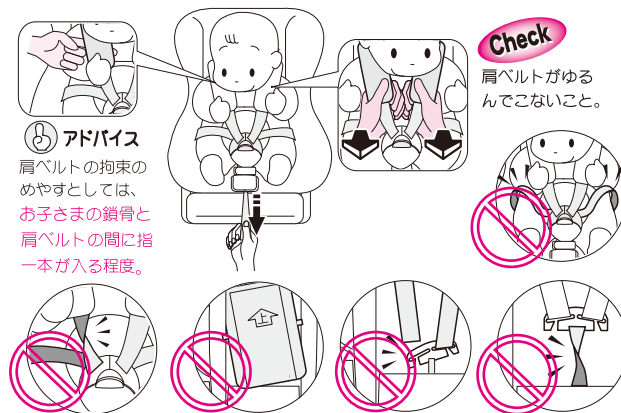
2 お子さまを、チャイルドシートの座面及びインナーパッドにあわせて深く座らせ、肩ベルトに左右の腕を通します。



3 バックルとタングプレートをロックします。

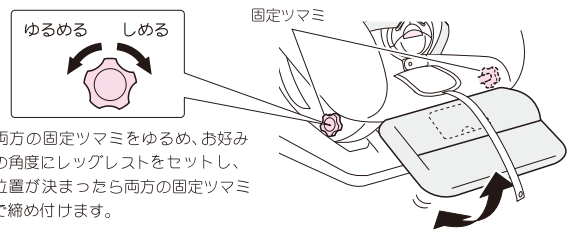


4 アジャストベルトを引き、肩ベルト、腰ベルトのゆるみたるみを取ります。



レッグレストの使い方

◎当製品のレッグレスト機能は、チャイルドシートに座ったお子さま（前向き使用時）の足のひらつきを抑制し、正しく着座していただくための補助装置です。



△警告 レッグレストのご使用は、車両進行方向に対して必ず前向き取り付け状態でお使いください。
お子さまが乗っていない場合はレッグレストは下ろした状態にしてください。

操作方法

△警告 操作は、かならず停車中におこなってください。

お子さまの

体重：



10~18kg 以下

身長のためやす：

75~100cm まで

年齢のためやす：

12ヶ月頃~4才頃

前向き取付け

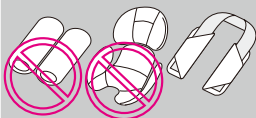


△警告

お子さまの体重が10kgを超えるまでは、前向きで
使用しないでください。

Check

取付具



△警告

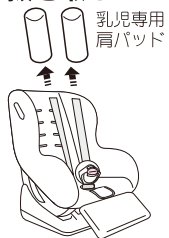
かならず幼児専用肩パッド
を使用してください。

2

幼児専用肩パッドへの交換

お子さまを座らせ肩ベルト高さを決めます

抜き取る



乳児専用
肩パッド

Check 1



ゴム面が下

△警告

肩ベルトの高さはお子さまの肩と
同じ高さか、やや高め
の肩ベルト通し穴を使用
してください。

△注意 かならず肩ベルトを左右
同じ高さのベルト通し穴に
通してください。

△注意 肩ベルトおよび、アジャ
ストベルトはねじれないよう
に、肩ベルトハンガーに取
り付けてください。



アドバイス

赤丸でかこまれた角の部分
から入れるとスムーズに通
すことができます。

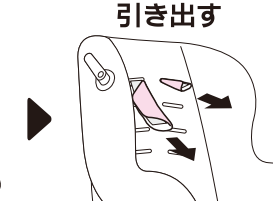
差し込む



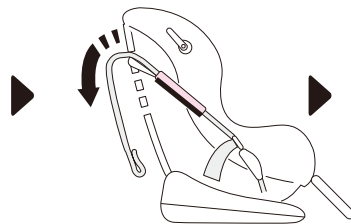
幼児専用肩パッド

内側

引き出す

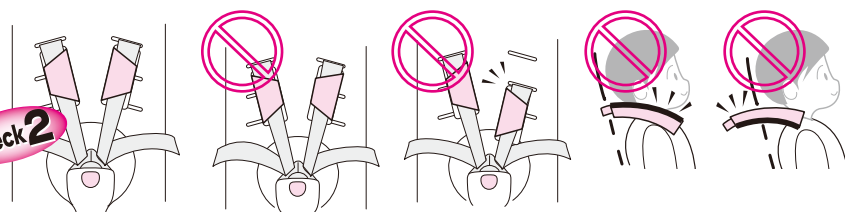


幼児専用肩パッドに肩ベルトを通します



△警告 ベルトカバーはかならず
取り付けてご使用くださ
い。

Check 2



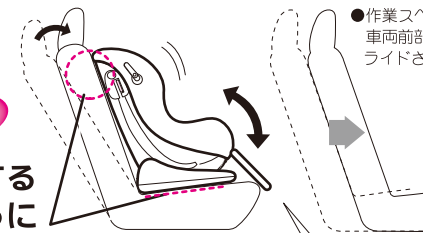
3

取付角度調節

車両シートに前向きで置きます

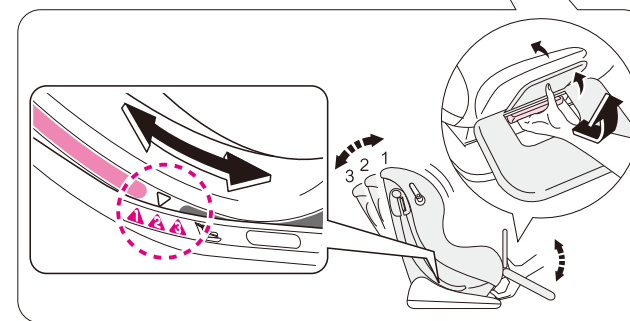
Check 3

接する
ように



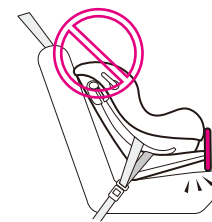
●作業スペース確保の為、
車両前部座席を前にス
ライドさせてください。

車両座席の背もたれ角度
に合わせてリクライニン
グ調節します



アドバイス

●チャイルドシートと自動車の座席
とのすき間によりガタツキが生じ
ると、事故時のダメージを軽減す
る機能が発揮できなくなるおそれ
があります。左図のようにクッシ
ョンなどいれてチャイルドシート
を固定してください。



クッションなど

操作方法

△警告 操作は、かならず停車中におこなってください。

お子さまの
体重：
10~18kg 以下



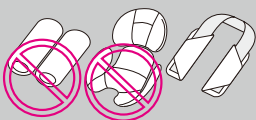
身長のためやす：
75~100cm まで
年齢のためやす：
12ヶ月頃~4才頃

前向き取付け



△警告
お子さまの体重が10kgを
超えるまでは、前向きで
使用しないでください。

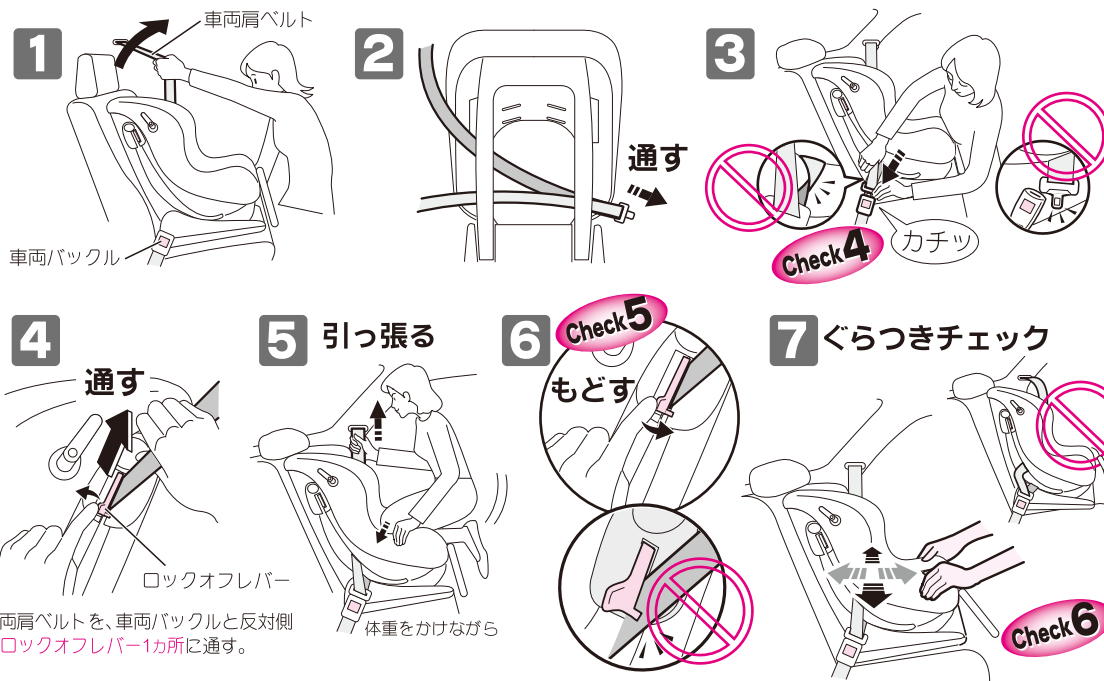
Check 取付具



△警告
かならず幼児専用肩パッド
を使用してください。

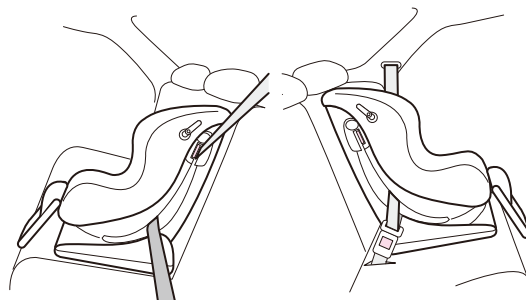
4

前向き 取付手順



車両肩ベルトを、車両バックルと反対側のロックオフレバー1か所に通す。

完成図



Check 1~6 はかならずおこなってください。

以上の項目をチェック後



●ぐらつきチェックで、ベース部を前後左右にゆすり、約3cm以上ぐらつく場合はもう一度取付手順の1~7の順序で、取り付けをやり直してください。